

小郡市名誉市民の上杉佐一郎さんをご存じですか？



上杉佐一郎さんは、1919年（大正8年）、小郡市に生まれ、貧困や部落差別などのさまざまな困難を乗り越えながら、部落解放運動の道を歩み、全国的な運動を進めました。

さらに、世界の国々で、さまざまな差別に苦しむ人たちと連帯し、1988年（昭和63年）、反差別国際運動（IMADR・イマダー）を創設。上杉さんは初代理事長として、世界の人権団体との交流を深める活動に努めました。

その後、IMADRの人種・民族差別などをなくし、世界の人権を守る活動は各国から高く評価され、アジアで初めて国連経済社会



▷1990年、日本を訪れた反アパルトヘイト運動の指導者ネルソン・マンデラさんと握手を交わす

理事会との協議資格を持つ人権NGO（非政府組織）と認定されたのです。IMADRは、南アフリカ共和国におけるアパルトヘイト廃絶の問題に取り組むほか、インドの被差別民「ダリット」と連帯し活動するなど、今日も多彩な活動を続けています。

上杉佐一郎さんの書斎を復元した特別展示コーナー



人権教育啓発センター内の展示室には、故・上杉佐一郎さんの書斎を再現した特別展示を行っています。上杉さんの蔵書や愛用品、そして、多くの人との交流写真などを展示しています。視察研修・見学は、随時受け付けています。

このような永年にわたる部落解放、反差別国際運動の取組が評価され、1992年（平成4年）、小郡市から名誉市民の称号を贈られたのです。

上杉さんは、部落解放だけでなく、あらゆる差別をなくすために尽力し、多くの人々との連帯こそが大切であることを示しました。私たちは上杉さんのその姿に学び、差別のない世の中をめざすべきではないでしょうか。

上杉佐一郎さんの生涯を絵本に

12月、上杉佐一郎さんの生誕100周年を記念して、絵本『解放の道ひとすじ～小郡市名誉市民上杉佐一郎の生涯～』を制作しました。上杉さんの生涯をわかりやすくまとめ、生涯をかけてあらゆる差別をなくす運動に取り組んだ姿を見ることができます。人権・同和問題は、限られた人の問題ではなく、全ての人に関係するものであり、一人ひとりが自分自身の課題として取り組んでいかなければならない問題だと教えてくれます。

人権教育啓発センターで貸し出していますので、学校や地域、家族などで、ぜひご活用ください。



● 問合せ先 人権教育啓発センター ☎80-1080

① 広報おごおり H31・1・1